

## 「そよ風通信」

入来院 久子



ちに、我が「入来花水木会」にも辿りつき、  
入来の町おこしで頑張っているのが嬉しくて  
お手紙をくださったということだった。

今年の7月の下旬。東京西新宿の法律事務  
所から突然、封書が届いた。

「なんだろう？法律に触れることなどし  
た記憶はないけど・・・」

驚いて封を開いてみれば、それは「みぞぐ  
ち法律事務所」溝口敬人弁護士からの丁寧な  
書状と事務所の所報だった。

なんでも溝口弁護士の祖父・萬五郎さんは  
入来院本家の出だというので、溝口弁護士が  
仕事で鹿児島を訪れた際、入来にも足を運び  
入来郷土館の資料で萬五郎の名を見つけ、調

べれば本家二十七代当主入来院定経の末子で  
溝口家に養子に入ったと判明。それで、ご先  
祖の入来院に興味を持って色々調べていくう

同封された「そよ風通信」という所報に、

溝口弁護士が入来院について書かれた文章が  
掲載されていて、それが面白かったのでこの  
「炉ばたセイ談」で紹介してもいいか尋ねる  
と、快諾してくださったので、私が経緯を説  
明して原稿をそのままここで発表させていた  
だくことにした。但し、本号では弁護士らし  
く「入来文書」の中の裁許状を解説されてい  
る「そよ風通信」第21号の序文（鎌倉時代  
の裁判の仕組み）をまず掲載させていただき、  
素晴らしい本文の「入来院のこと」は来年の  
号で紹介させていただこうと思う。

今回このように、入来院本家筋のお方とご  
縁が出来て、心から嬉しいと父と一緒に感謝  
している。

（入来花水木会会長）